

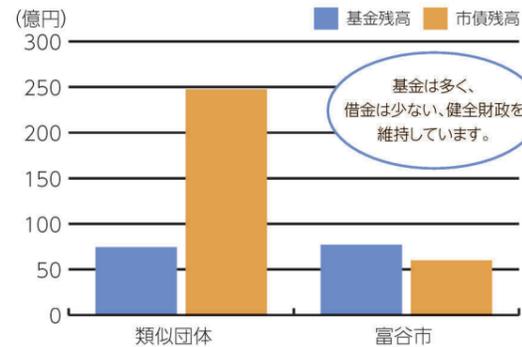
市の財政状況について — 市の基金（貯金）と市債（借金）

基金（貯金）および市債（借金）の残高は、令和4年度末で、基金が約76億955万円、市債が約60億2,652万円となりました。

市民1人当たり換算すると、約14万5,000円の貯金、約11万5,000円の借金となり、類似団体平均と比べると、貯金は同水準である一方で、借金は類似団体の約35万4,000円に対し、大幅に低い値となっており、健全財政を維持しています。

なお、基金は、財政調整基金から所要額を取り崩していますが、安定的に推移しており、今後も計画的な運用に努めていきます。

類似団体との基金と市債残高の比較(令和4年度決算)



※類似団体については、令和5年8月公表数値です。

市債の目的	借入額
道路整備事業債	2億7,440万円
河川整備事業債	2,000万円
緊急防災・減災事業債	680万円
学校教育施設等整備事業債	630万円
図書館等複合施設整備事業債	5億1,910万円
臨時財政対策債	6億円

令和6年度市債借入見込額の状況

道路整備事業債は市道の側溝整備や舗装修繕事業などに、図書館等複合施設整備事業債は市民図書館等複合施設の建築工事などに充てるため、借り入れる予定です。

また、臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借入を予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

令和6年度 主な基金の取り崩し見込額の状況

基金名	取崩額・充当額	令和6年度の充当事業
財政調整基金	7億7,695万円	—
長寿社会福祉基金	222万円	社会福祉協議会補助事業
森林環境整備基金	129万円	緑づくり事業
とみやスイーツ基金	234万円	とみやスイーツ活性化事業
ユーマイタウン施設整備基金	1億7,579万円	図書館等複合施設整備事業 放課後児童クラブ整備事業
石油貯蔵施設立地対策等交付金基金	1,693万円	消防ポンプ整備事業

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て、予算案を編成します。

令和5年	
9月上旬	予算編成方針調整期間 国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入(収入)額を見込み、必要な情報を収集
9月下旬	令和6年度予算編成方針決定・発表
10月中旬	予算見積書作成 各部各課において見積書を作成
11月中旬	市長へ各部各課の予算要求内容説明
12月中旬	第一次査定(企画部長・財政課長査定)
12月下旬	第二次査定(副市長査定) 財政課長から副市長に第一次査定結果の提示

令和6年	
1月中旬	第三次査定(市長査定) ・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 ・基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・令和6年度当初予算案確定(予算書印刷) ・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知
2月下旬	議案審議 ・予算書配布 ・予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置
3月中旬	予算案の議決
4月	新年度予算執行開始

令和6年度 市の予算と事業

令和6年度の予算概要と主要事業、市の財政状況についてお知らせします。皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

問 財政課 ☎022-358-0619

目次

- P 2… 令和6年度一般会計予算の中身を見てみよう
- P 6… 令和6年度に実施する市の主な事業
- P 12… 市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「富谷市総合計画 基本構想 2016～2025」

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

基本方針-1
暮らしを自慢できるまち!

基本方針-2
教育と子育て環境を誇るまち!

基本方針-3
元気と温かい心で支えるまち!

基本方針-4
市民の思いを協働でつくるまち!

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



令和6年度 一般会計予算の中身を見てみよう！

どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？



そもそも、予算とは何？

1年（4月から翌年3月）に市へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を決めたものです。予算は市議会の審議と議決によって成立します。

一度決めた予算は、変えられないの？

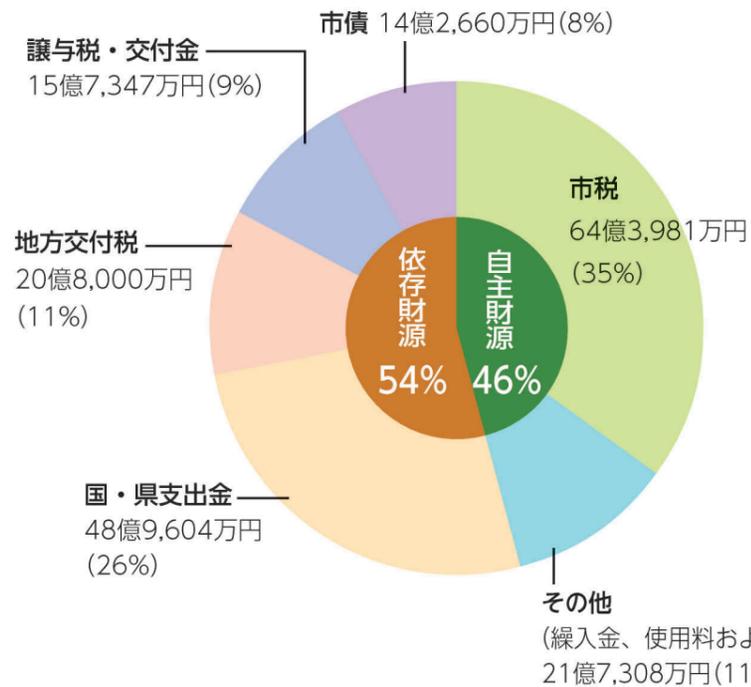
変えられます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに、市議会の審議と議決によって予算の補正を行います。

令和6年度 一般会計当初予算

令和6年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。「子どもにやさしいまちづくり実践予算」として、教育と子育て支援を充実させています。2月20日開会の令和6年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月6日～11日）の集中審議を経て、3月13日に原案可決され成立しました。

185億8,900万円 (令和5年度：155億4,500万円)

歳入(収入) このお金はどこからやってくるの？



- 市税**：皆さんが、市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 地方交付税**：全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**：国や県が、使い道を決めて交付するお金です。
- 市債**：市が銀行等から借り入れるお金です。

自主財源 46%

86億1,289万円

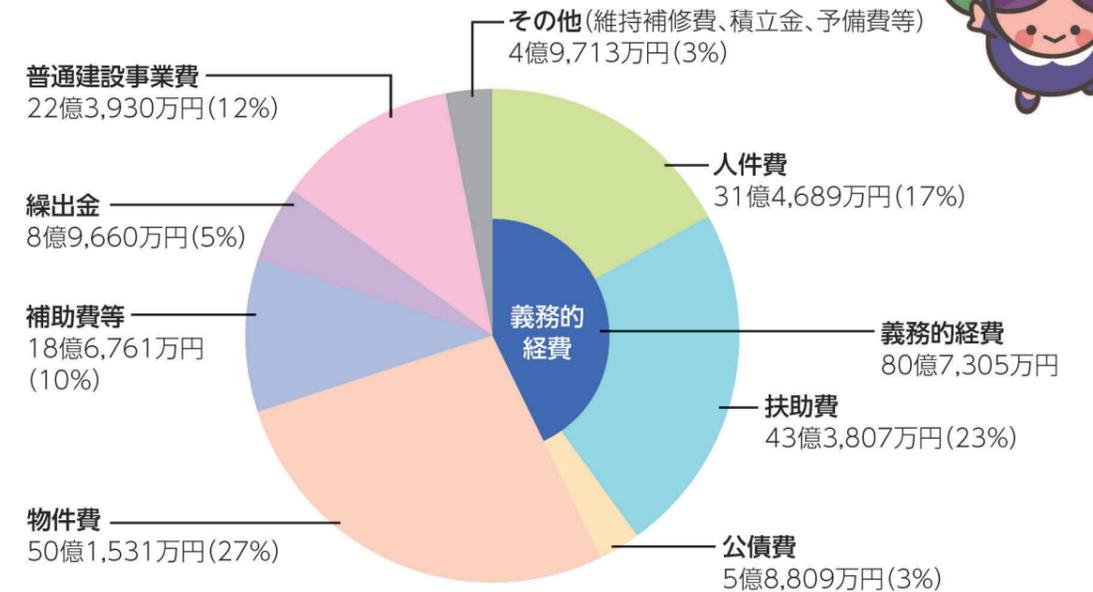
市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金を自主財源といいます。この財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 54%

99億7,611万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金を依存財源といいます。市債も該当します。

歳出(支出) このお金は何に使われるの？



- 義務的経費**：人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- 物件費**：委託料、使用料、備品購入費、手数料、需用費、旅費、交際費などの経費です。
- 補助費等**：各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。
- 繰入金**：特別会計等に支出する経費です。
- 普通建設事業費**：公共または公用施設の新増設等に要する経費です。

普通の生活に見立てると...

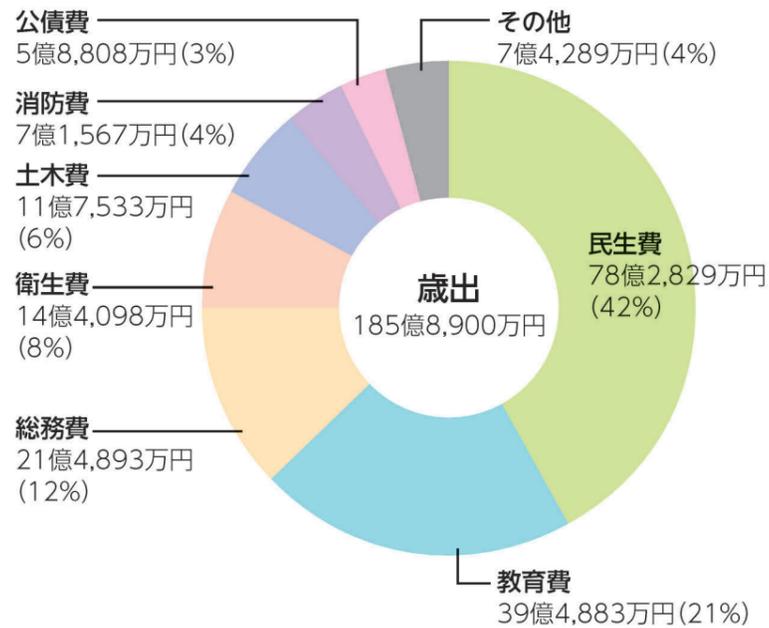
予算を一般家庭(年間収入・支出 565万9,000円*)に見立てると

年間収入	
給料収入(市税)	196万 455円
パート収入(その他)	84万3,580円
銀行からの借金(市債)	43万4,296円
家族からの援助(地方交付税、国・県支出金)	212万3,696円
貯金取り崩し(繰入金)	29万6,973円
収入計	565万9,000円

年間支出	
生活費(人件費、物件費、予備費等)	279万2,441円
自宅の増築(修繕)費(普通建設事業費、維持補修費)	79万3,387円
子育て費(仕送り・学費等)(扶助費、補助費等)	188万9,178円
ローン返済(公債費)	17万9,029円
貯金(積立金)	4,965円
支出計	565万9,000円

*一般会計予算額を全国家計構造調査における宮城県の平均年間収入 565万9,000円に合わせたもの。

お金の使い道 実際は何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小・中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民1人当たりになると…

民生費

子どもや高齢者、障がい者の福祉などに

149,344円
(126,555円)



教育費

小・中学校、幼稚園など教育のために

75,333円
(44,761円)



総務費

市民バスの運行や交通安全、防犯のために

40,996円
(34,369円)



衛生費

ごみ処理や病気の予防などに

27,490円
(24,001円)



354,630円
(296,666円)

※令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口52,418人で換算しています。

※ () 内は昨年度の金額です。

土木費

道路や公園などの整備に

22,422円
(29,780円)



消防費

地域の防災や消防団の活動のために

13,653円
(12,514円)



公債費

借金返済に

11,219円
(11,317円)



その他

産業や議会関連経費などに

14,173円
(13,369円)



その他各種会計の予算

そもそも、特別会計とは何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

下水道事業会計や水道事業会計とは何？

下水道事業会計や水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。公営企業である上下水道事業は、独立採算方式を原則とし、料金収入によって維持しています。



◎ 特別会計の予算

会計	当初予算額	主な内容
市営墓地特別会計	1億3,194万円	墓地整備費など
国民健康保険特別会計	42億7,415万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険特別会計	31億8,374万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	5億4,554万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など

◎ 下水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	10億9,395万円
	支出	10億9,150万円
資本的収支	収入	2億7,885万円
	支出	3億4,232万円

収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
収入は企業債や建設改良事業に対する国庫補助金などで、支出はポンプ場建設改良事業に要する経費や流域下水道建設負担金など

◎ 水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億1,513万円
	支出	10億504万円
資本的収支	収入	1億8,150万円
	支出	3億7,363万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は広域水道用事業所からの受水費や配水池、配水管および給水装置等にかかる費用など
収入は企業債や開発負担金などで、支出は配水管耐震化工事等の経費や企業債の元金償還金など

昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると…

区分	令和6年度予算額	令和5年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	185億8,900万円	155億4,500万円	30億4,400万円
特別会計	81億3,537万円	82億9,553万円	△1億6,016万円
市営墓地特別会計	1億3,194万円	3億2,982万円	△1億9,788万円
国民健康保険特別会計	42億7,415万円	43億5,032万円	△7,617万円
介護保険特別会計	31億8,374万円	31億4,416万円	3,958万円
後期高齢者医療特別会計	5億4,554万円	4億7,123万円	7,431万円
総計	267億2,437万円	238億4,053万円	28億8,384万円

令和6年度一般会計当初予算は、限られた財源を有効活用するため、令和5年度2月補正予算との連動(当初予算事業の前倒し計上)を特に意識した編成を講じていますが、図書館等複合施設整備事業費などの計上により、昨年度から約20%の増額となりました。

区分	令和6年度予算額	令和5年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	78億2,829万円	66億3,135万円	11億9,694万円
教育費	39億4,883万円	23億4,541万円	16億 342万円
総務費	21億4,893万円	18億 90万円	3億4,803万円
衛生費	14億4,098万円	12億5,762万円	1億8,335万円
土木費	11億7,533万円	15億6,042万円	△3億8,509万円
消防費	7億1,567万円	6億5,574万円	5,993万円
公債費	5億8,809万円	5億9,301万円	△493万円
その他	7億4,289万円	7億 55万円	4,235万円

令和6年度に実施する主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

1. 暮らしを自慢できるまち！

(1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

労働雇用対策事業（産業観光課） …… 1,540万円

高齢者の就業機会の拡充と雇用機会の拡大を図ります。また、シルバー人材センターと連携して、「富谷茶復活プロジェクト」に取り組みます。

企業誘致事業（産業観光課） …… 1,603万円

企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金・用地取得奨励金制度などの活用や宮城県等との連携により、企業誘致に努め企業の立地を促進します。市の産業振興と雇用創出を図ります。

富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業（産業観光課） …… 3,197万円

富谷塾や起業創業プログラムなどの各フェーズに応じた多様なメニューを提供しながら、起業速度を高める伴走型支援や地域課題の解決につながるビジネスを創出します。

富谷市ビジネス交流ベース運営事業（産業観光課） …… 991万円

しんまち地区のにぎわいとビジネス創造の拠点として、新たなビジネスと自由な交流が生まれる場となるよう効果的な運営を進めます。

※デジタル田園都市国家構想交付金(377万円)を活用



中小企業制度融資事業（産業観光課） …… 5,156万円

中小企業者等の経営の安定化と発展を図るため、中小企業振興資金の融資あっせん制度により、融資に係る保証料の補給や支払利息への利子補給を行います。

(2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

とみやはちみつプロジェクト事業

（農林振興課） …… 132万円

市役所庁舎上で養蜂・採蜜を継続するとともに、養蜂家育成の支援とみつ源拡大を行います。



農作物有害鳥獣等駆除事業

（農林振興課） …… 1,057万円

有害鳥獣による農作物の被害防除を図るため、捕獲隊員による巡回、わなの設置、捕獲等を行います。特にイノシシによる農作物被害防除対策として、電気柵購入助成や地域への侵入等を防ぐワイヤーメッシュ柵設置と維持管理の支援をするとともに、ICTを活用した捕獲を行います。

生産調整推進事業（農林振興課） …… 1,517万円

地域水田農業推進協議会が主体となり、生産調整に応じた水田の利活用促進のため、転作物への支援を拡充し、農業所得及び経営の安定化を図ります。

※経営所得安定対策推進事業費補助金ほか(290万円)を活用

特産品定着推進事業（農林振興課） …… 530万円

新特産果樹定着事業として、シャインマスカット・イチジク・ぼろたん栗・ラズベリーを推奨し、苗木等購入助成により生産拡大を目指します。また、富谷茶復活を目指して富谷茶の在来種から育苗した茶木を栽培する生産者のほ場整備や栽培技術等への支援を行います。

農業用施設維持管理事業

（農林振興課）※拡充 …… 5,967万円

農業用施設の水路・農道等の維持補修や修繕、農業用施設の長寿命化と安全な施設維持管理のための改修により、農業経営の環境整備を行い、農業の生産性向上を図ります。

※農業水利施設保全管理整備交付金ほか(2,296万円)を活用

スイーツのまち推進事業（産業観光課） …… 499万円

「スイーツのまち＝とみや」として、夏と秋にスイーツフェアを開催し、とみやスイーツならびに富谷の魅力をPRします。消費拡大を図るとともにスイーツによるシティブランドの確立を目指します。

富谷宿観光交流ステーション運営事業

（産業観光課） …… 1,234万円

本市の偉人内ヶ崎作三郎氏の功績を広く市内外にそして後世に伝える記念館を運営するとともに、歴史的な資源や背景を生かした観光交流の拠点や富谷市まちづくり産業交流プラザと連携した起業・創業の実践・チャレンジの拠点として活用を図ります。なお、管理運営は指定管理者制度により実施します。

(3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります 新公共交通システム推進事業

（企画政策課）※拡充 …… 1,023万円

富谷市が目指す交通の将来像の実現に向け「富谷市都市・地域総合交通戦略(基本計画)」で設定した短期施策の評価・検証を行うとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、富谷市地域公共交通計画の策定を行います。

市民バス運営事業（企画政策課） …… 6,412万円

民間路線バスと連携し、市内における交通不便地域の解消と公共施設などへの移動手段の確保のため、市民バスを運行します。



デマンド型交通運行事業（企画政策課） …… 1,347万円

市民バスの代替路線となる新たな交通網の形成を目指し、市内の東部区域・北部区域の交通空白地域を対象としたデマンド型交通の運行を行います。

橋梁維持管理事業（都市整備課）※拡充 …… 9,860万円

老朽化した橋梁を修繕し、歩行者や通行車両の安全と快適性を確保するため、長寿命化計画に基づき、新富谷大橋の修繕工事を実施します。

※道路局所管補助金ほか(7,970万円)を活用

2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

不登校特例校西成田教室維持管理・運営事業

（教育総務課・学校教育課） …… 1,038万円

誰一人取り残すことのない教育の実現に向けて、不登校特例校西成田教室の維持管理・運営を行います。

市立小学校・中学校維持管理・運営事業

（教育総務課・学校教育課） …… 5億1,577万円

小学校8校、中学校5校の施設の維持管理・運営を行います。

※学校施設環境改善交付金ほか(1,243万円)を活用



子育てのための施設等利用給付事業

（教育総務課） …… 1億5,278万円

幼児教育・保育の無償化に伴う保育料、預かり保育利用料および副食費についての給付事業を行います。

※子育てのための施設等利用給付交付金ほか(1億1,428万円)を活用

市道穀田線道路改良事業（都市整備課）※拡充 …… 5,465万円

歩行者の安全確保と交通の円滑化を図るため歩道の延伸工事を実施します。

※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか(4,750万円)を活用

市道維持管理事業（都市整備課）※拡充 …… 2億9,070万円

市道の適正な維持管理のため、除草や街路樹剪定、老朽化した路面舗装や側溝等を補修し、良好で安全な道路交通を確保します。

※公共施設等適正管理推進事業債ほか(4,050万円)を活用

側溝整備事業（都市整備課）※拡充 …… 1億6,000万円

快適で安全な道路交通を確保するため、富ヶ丘・鷹乃杜・あけの平の側溝を改修します。

※緊急自然災害防止対策事業債ほか(1億5,900万円)を活用

(4) 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

市営住宅維持管理事業（都市計画課）※拡充 …… 427万円

市営西沢住宅の照明灯LED交換工事を行い、良好な居住環境を維持します。

※みやぎ環境交付金(80万円)を活用

緑づくり事業（農林振興課）※拡充 …… 205万円

野鳥の森散策路に架かる橋の修繕と階段の整備を行い、安全な散策路の環境整備を図ります。

※森林環境整備基金繰入金(129万円)を活用

社会科副読本作成事業

（学校教育課）※拡充 …… 228万円

学校ICT環境を効果的に活用したポータルサイトの役割も担う新たなデジタル教材を河北新報社との共同開発にて構築し、地域学習の更なる充実を図ります。

教育支援センター運営事業

（学校教育課） …… 2,262万円

児童・生徒の実情に応じた心サポート機能や学びサポート機能、適応サポート機能等の充実を図り、学校復帰や社会的自立を目指すとともに、不登校特例校西成田教室との連携により、不登校児童生徒の減少を目指します。

※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金(540万円)を活用

幼稚園・学校健康診断等事業

（学校教育課）※拡充 …… 3,155万円

増加傾向にある不登校対策として、心の健康観察アプリを導入し、児童生徒の心の変調をいち早く把握することで、不登校の早期発見と未然防止に努めます。

※不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業補助金(211万円)を活用

市立小学校・中学校コンピュータ教育事業

(学校教育課) 1億1,487万円

小学校、中学校のICT機器、ソフトウェア、コンテンツの充実を図り拡充し、学習環境の整備を推進します。

学校給食センター運営・維持管理事業

(学校教育課学校給食センター) 6億2,873万円

市立学校の児童生徒に安全安心な学校給食を提供するため、学校給食センターの運営・維持管理を行います。

(2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

公民館維持管理事業 (公民館) ※拡充 1億6,043万円

地域における学習・交流の拠点である公民館を、安全・快適に利用できるように、施設の維持管理・整備を行います。また、富ヶ丘公民館LED照明交換工事を行い、他の公民館も順次計画的に実施します。

※みやぎ環境交付金 (509万円) を活用

図書館等複合施設整備事業

(生涯学習課) ※拡充 11億5,922万円

富谷市民図書館・スイーツステーション・児童屋内遊戯施設を複合化した図書館等複合施設の令和7年度開館に向け、建設工事、工事監理や駐車場用地購入等を進めます。

※都市構造再編集中支援事業費補助金ほか (11億5,377万円) を活用



総合運動公園運営・維持管理事業

(生涯学習課) ※拡充 9,514万円

施設利用のオンライン予約サービスを導入し、市民の利便性の向上を図るとともに、本市のスポーツ施設の中核として、誰もが楽しく安全にスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、適切な維持管理に努めます。

やすらぎパークとみや維持管理事業

(生涯学習課) ※新規 4,681万円

パークゴルフ場の芝生や管理棟の適切な維持管理等、市営墓地とパークゴルフ場の一体の運営と維持管理を行い、市民の憩いの場とレクリエーション活動の場を提供します。

※スポーツ振興くじ助成金 (3,840万円) を活用



(3) 伝統と文化を誇れるまちを作ります

民俗ギャラリー運営・維持管理事業

(生涯学習課) 560万円

民俗、考古、歴史資料等の収集や保存、調査を行い、適切な展示や企画展を通じ、郷土を学ぶ場を提供します。



街道まつり運営事業 (産業観光課) 773万円

しんまち地区でのイベントを通じ、富谷の魅力のアピールとふるさと意識の醸成をねらい、市民主体による「オール富谷」でにぎわいを創出します。

※デジタル田園都市国家構想交付金 (300万円) を活用

埋蔵文化財発掘受託事業

(生涯学習課) ※新規 3億7,632万円

成田二期北土地区画整理事業の区域予定地に9か所ある埋蔵文化財を開発前に発掘調査を行い、後世へ伝える資料として記録保存します。

※成田二期北発掘調査事業者負担金 (3億7,632万円) を充当

(4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

学校給食費無償化 (学校教育課) 3億3,000万円

市立学校に在籍する児童生徒の学校給食費完全無償化を継続します。

認可保育所等運営事業

(子育て支援課) ※拡充 15億1,275万円

認可保育所4園、認定こども園6園および小規模保育園4園に対して、保育施設整備費の増や公定価格の上昇分等を増額して運営経費を助成します。

※子どものための教育・保育給付費負担金ほか (9億7,926万円) を活用

放課後児童クラブ整備事業

(子育て支援課) ※新規 4億5,043万円

令和7年度から新設予定の東向陽台小学校児童クラブの監理業務、工事や備品購入等を行います。

※子ども・子育て支援施設整備交付金ほか (4億3,098万円) を活用

放課後児童クラブ運営事業

(子育て支援課) ※拡充 3億2,719万円

市内8か所の児童クラブの運営を民間事業者へ委託し、防犯カメラを新たに設置します。

※子ども・子育て支援交付金ほか (1億357万円) を活用

保育所運営・維持管理事業

(子育て支援課) ※拡充 2億3,295万円

市立保育所4所の施設の修繕と防犯カメラを新たに設置し、更なる保育環境の整備を図ります。

※宮城県市町村振興総合補助金ほか (432万円) を活用

妊産婦支援事業(子育て支援課) 5,079万円

母子健康手帳交付時からの継続した相談・支援により、産後うつや虐待の予防を目指し、母子が心身共に健康に過ごせる環境を整備します。また、産後ケア事業では、アウトリーチ型の開始等、拡充し実施します。

※母子保健衛生費補助金ほか (491万円) を活用

子育て支援事業(子育て支援課) 2,412万円

子育て支援センターを拠点に、子育て講座や育児相談等のほか、イベント等で親子の交流を行います。



※子ども・子育て支援交付金ほか (1,069万円) を活用

感染症予防事業

(子育て支援課) ※拡充 1億9,486万円

ロタウイルス、麻しん風しん、五種混合、日本脳炎、BCG、小児肺炎球菌等各種予防接種やおたふくかぜ、インフルエンザ任意予防接種に対して助成します。

病児・病後児保育室運営事業

(子育て支援課) 4,748万円

病児・病児回復期等にある保育の必要な児童を対象に、診療所等で一時預かり保育を実施します。

※子ども・子育て支援交付金 (1,631万円) を活用

子ども医療費助成事業

(子育て支援課) 3億円

0歳から18歳年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療等に係る自己負担額と食事療養費を全額助成します。

※乳幼児医療費助成事業補助金 (2,923万円) を活用

3. 元気と温かい心で支えるまち！

(1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

高齢者補聴器購入費助成

(長寿福祉課) 300万円

聴力機能低下により日常生活を営むことに支障が生じる高齢者に対し、地域交流および社会とのつながりを保ち認知症やフレイルの進行を緩やかにさせる一助とするため、補聴器購入にかかる費用の一部を助成します。

敬老祝い事業

(長寿福祉課) ※拡充 2,546万円

各町内会の敬老祝い事業に対して、75歳以上の人数に応じて基本額を一部増額し助成を行うとともに、各節目の年齢を迎える方へ祝金を支給します。

一般介護予防事業

(長寿福祉課) 166万円

地区の身近な会館等で開催している高齢者の閉じこもり予防や交流の場を推進する「ゆとりすとクラブ・サロン」等を支援します。

乳児見守りおむつ等お届け便事業

(子育て支援課) 838万円

0歳児を養育する家庭に、定期的に紙おむつ等を届け経済的な負担軽減に加え、声かけや見守りの継続と子育て情報の提供等により孤立や不安解消に努めます。



出産・子育て応援事業(子育て支援課) 3,656万円

妊婦、子育て世帯が安心して出産、子育てできるよう妊娠期から出産、子育て家庭に寄り添い支援につながる歩型支援と経済的支援を一体的に実施します。

※出産・子育て応援交付金 (3,039万円) を活用

子育て家庭支援事業(子育て支援課) ※新規 196万円

保護者の疾病や冠婚葬祭などの理由により家庭で子どもの養育ができないとき、児童福祉施設で短期間子どもを預かる支援を行います。また、子育て世帯の不安軽減等を目的に子育て世帯訪問支援を新たに行います。

※子ども・子育て支援交付金 (110万円) を活用

幼児教育事業(公民館) ※拡充 2,503万円

公民館で幼児学級を開催するほか、プレイルーム保育士の増員により開室時間を延長し、子育て世帯や児童が安心して利用できる環境の充実を図ります。

※学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 (26万円) を活用

児童手当支給事業(子育て支援課) ※拡充 11億7,555万円

支給回数が年3回から6回となり、所得制限の撤廃や高校生の年代まで支給を延長し、第3子以降の支給額増額を行います。

※児童手当負担金 (9億9,181万円) を活用

国民健康保険税の引き下げ (健康推進課) 2,280万円

国民健康保険加入全世帯に対する負担軽減を図るための平等割軽減と、子育て世帯に対する負担軽減を図るため、就学児から18歳までの均等割独自減免を継続します。

住民検診事業 (健康推進課) 1億7,936万円

乳がん、大腸がん、胃がん検診等がん検診や成人歯周疾患検診、脳検診などの住民検診を実施します。

※健康増進事業等補助金ほか (384万円) を活用



感染症予防事業（健康推進課）※拡充……………4,164万円

帯状疱疹ワクチン、高齢者インフルエンザワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成、風しんの抗体検査と予防接種を実施します。

健康づくり、食育推進事業（健康推進課）……………184万円

市民の健康維持・増進を図るため、周知啓発や健康講座等を行います。また、食を通して豊かな心とからだを育むため、食育推進事業を実施します。

※健康増進事業等補助金ほか（49万円）を活用



保健衛生総務事務（健康推進課）※拡充……………734万円

若年がん患者の在宅療養充実のため在宅福祉サービスの助成やがん患者等医療用補正具購入助成を行います。※若年がん患者在宅療養支援事業補助金（仮称）ほか（100万円）を活用

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（健康推進課）※拡充……………294万円

高齢者の疾病予防・重症化予防とフレイル予防の促進により健康寿命の延伸につなげるため、体組成測定等を活用した事業や個別支援を行います。



※宮城県後期高齢者医療広域連合一体的実施委託料（294万円）を活用

(2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

精神障害者地域生活支援事業（地域福祉課）※拡充……………1,133万円

障がいの有無に関わらず、ひきこもりの状態にある本人や家族を対象とした実態把握調査や相談支援事業等を展開し、早期発見と社会参加の促進を図ります。

※地域就職氷河期世代支援加速化交付金ほか（855万円）を活用

地域生活支援事業（地域福祉課）※拡充……………5,307万円

障がい者等が自立した生活を営むことができるよう地域特性や利用者状況に応じた柔軟な形態により移動支援事業や日常生活用具給付事業等を実施します。

※地域生活支援事業補助金ほか（2,634万円）を活用

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム事業（地域福祉課）※新規……………100万円

精神障がいの有無や程度に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、保健・医療、障がい福祉、介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築と新たに精神保健福祉相談事業等を実施します。

障害者自立支援給付事業（地域福祉課）……………6億449万円

障がい者の自立と社会参加への支援等のため、障害者総合支援法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。※障害者自立支援給付費負担金ほか（4億5,267万円）を活用

高齢者・障がい者交通対策事業（長寿福祉課・地域福祉課）……………4,413万円

70歳以上の高齢者及び18歳以上の障がい者、60歳以上70歳未満の運転免許証返納者への外出支援乗車証「とみぱす」を交付します。



(3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

生活困窮者自立支援促進事業（地域福祉課）……………3,158万円

自立相談支援、就労準備支援、家計改善支援、アウトリーチ支援等、生活困窮者が自立できるよう包括的な支援を行います。

※生活困窮者自立相談支援事業費等負担金ほか（2,183万円）を活用



生活保護扶助事業（地域福祉課）……………2億31万円

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長するため、生活保護費を支給します。

※生活保護費負担金（1億5,023万円）を活用

重層的支援体制整備事業移行準備事業（長寿福祉課）……………1,364万円

属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の移行準備として必要な支援体制の構築を行います。

4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

災害対策総務事務（防災安全課）……………340万円
災害時の情報発信に有効となる安全・安心メールを運用します。

防災啓発事業（防災安全課）※拡充……………203万円
市民の防災に対する意識の高揚と知識の習得を図るため、新たに防災講座を開催します。また各地区の防災訓練時において使用する防災訓練関係用品（炊き出し訓練用アルファ米）等を購入します。

防災用情報通信設備等維持管理事業（防災安全課）※拡充……………1,582万円

災害時における住民への情報伝達の強化を図るため、現行の防災用屋外スピーカーを高性能スピーカーに更新します。（東向陽台小学校設置屋外スピーカーの高性能化）

※緊急防災・減災事業債（680万円）を活用
消防ポンプ整備事業（防災安全課）※新規……………2,794万円

消防団町下配備後30年が経過している消防ポンプ自動車の更新を行い、火災に対して機動力の確保とさらなる消防力の強化を図ります。



※石油貯蔵施設立地対策等交付金ほか（2,541万円）を活用

交通安全対策総務事務（防災安全課）※拡充……………252万円
道路交通法の改正により自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化され、着用の重要性も高まっていることから自転車用のヘルメット購入費の一部助成を行います。

防犯設備整備事業（防災安全課）……………341万円
安心安全のまちづくりに資するため、昨年度に引き続き、市内各中学校区に1台ずつ、計5台の防犯カメラを設置します。



※市町村振興総合補助金（100万円）を活用

道路交通安全施設整備事業（都市整備課）……………2,882万円

道路の交通安全を確保するため、道路区画線や路面標示等の整備のほか、道路照明灯、防護柵、カーブミラーなどの交通安全施設の整備と維持管理を行います。

(2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

ゼロカーボンシティ推進事業（企画政策課）……………429万円

富谷市地球温暖化対策実行計画に基づき、市民啓発事業を継続するとともに、全庁的なゼロカーボンの取組を推進します。

地域水素サプライチェーン継続実証事業（企画政策課）……………1,363万円

関係事業者との連携のもと、これまでの実証事業の総合的な検証を行うとともに、社会実装に向けた調査・研究を進めます。

※二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（864万円）を活用

一般廃棄物処理（仙台市委託分）事業（生活環境課）……………1億5,447万円

一般廃棄物の処理に係る事務を仙台市へ委託します。

一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）……………2億6,829万円

生活系一般廃棄物の収集運搬等を委託します。

(3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

町内会館整備事業（市民協働課）……………3,471万円

東日本大震災の被災による床傾斜等の改修に伴う実施設計が終了したひより台一丁目会館の改修工事を行います。

移住支援事業（企画政策課、産業観光課、農林振興課）……………6,348万円

東京圏から地方へ就業を伴い移住した方へ移住支援金を支給します。あわせて地域おこし協力隊（産業観光課、農林振興課）を採用し、人口減少対策と地域課題の解決を図ります。

※移住支援事業負担金（459万円）を活用

長期総合計画推進事業（企画政策課）※拡充……………801万円

本市総合計画と国土利用計画、地方創生総合戦略、人口ビジョンが令和7年度で終期を迎えるため、総合計画ほか各種計画の改定作業を進めます。

基幹系システム改修事業（総務課）※拡充……………2億691万円

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度末までに国が定める標準仕様に適合した情報システム（住基・税務システム等20業務）への移行の準備をすすめます。

※デジタル基盤改革支援補助金（2億691万円）を活用